



理念

私達は、高い志をもち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、利他の精神をもって活力ある経営を行い、社会福祉法人としての責務を果たし、社会に貢献してまいります。

特集

各施設でイベントが再開



JAXA見学(大泉障害者支援ホーム)

もくじ

ご挨拶	1
東援ニュース	2
委員会活動報告	3

特集：各施設でイベントが再開	4
施設活動報告	6
支援マテリアル紹介・東援歳時記	8



理事長挨拶 2024年新たな年を迎えました

理事長 中村 明彦

2024年の新たな年を迎え一言ご挨拶を申し上げます。

冒頭に本年1月1日に発生した能登半島地震におきましてお亡くなりになられた方々へ哀悼の意を表しますと共に、被災に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げ1日も早い復興をお祈り致します。

さて、昨年を振り返りますとあまり良い年ではなかったような1年でありました。

世界情勢的にはロシアのウクライナ侵攻が続く中、中東ではイスラエルとハマスの戦闘が勃発し、地球温暖化による異常高温、線状降水帯による異常豪雨、地震による災害などが多発しました。

国内ではコロナの感染分類が5類に下がったとはいえ、相変わらずコロナ感染が収束せず、インフルエンザも例年以上に流行し学級閉鎖にも至っております。

また、国会議員を始めとして市区町村長や地方議員のモラルの低下、法令遵守の倫理観の欠如により政治に対しての不信感の増幅。大学体育会系の薬物使用、企業や芸能界でのいじめ、暴力、ハラスメントなど、わが愛する祖国日本はどうなって行くのでしょうか。

ただ一つ言えるのは、そのような中であっても、私達は愚直に福祉の原点「利他の精神」「奉仕の誠」を進んで行くということです。

このような時だからこそ、今年も利用者、地域の方々に喜んで頂けるように職員一丸となって取り組んで参ります。

人は強くなければ生きていけない、

しかし優しくなければ生きていく価値がない

新年にあたり、私がいつも心に刻んでいる言葉を皆様に贈らせて頂きます。

NEWS 1

障害者グループホーム「練馬区立しらゆり荘」を今春から受託

知的障害のある方が地域社会の中で自立した生活が送れるよう、万全の運営をしていきます。

●所在地：練馬区練馬3丁目20番7号

●運営開始：令和6年4月1日

●事業種別：① 共同生活援助事業
② 短期入所事業
③ 日中一時支援事業

●対象者：① 区内在住の18歳以上の知的障害者。

就労、または就労継続支援等の事業所に日中通所している方で、移動、食事、排泄、更衣等の身辺処理ができていて、地域社会での自立を目指した日常生活の訓練を希望する方が対象です。

②、③ 区内在住の知的障害、身体障害のある方で短期入所・日中一時支援事業の支給決定を受けた受給者証をお持ちの方や介護者で休養を必要とする方が対象です。

●定員：① 男性4名 女性4名
②、③ 合わせて6名 内、宿泊は4名

●併設施設：しらゆり活動交流室（サークル活動など、地域に貸し出す施設です。）

*また、日中一時支援の枠組みで、概ね2～3歳の方を対象とした「さんさんコース」もあります。



NEWS 2

東京高次脳機能障害者支援ホーム建替工事

東京高次脳機能障害者支援ホームは、主に高次脳機能障害者（中途障害者）の支援を行う入所施設です。

現在、建て替えのために練馬区西大泉から清瀬市梅園に一時移転中です。完成イメージ図が出来上がりましたのでお知らせします。

●工期：令和5年12月1日～令和6年11月30日（予定）

〈完成イメージ図〉



人材育成委員会

委員会の目的

人材育成委員会は、職員一人ひとりが法人職員としての自覚を持ち、法人理念にある「利他の精神」の実践者となるため、職員の資質や専門性の向上を目指すとともに、社会に貢献できる職員の育成を目的として取り組んでいます。



上記写真は、第2回新任職員研修の様子です。職層研修や課題別研修を実施しました。

人材育成委員会独自の取り組みとして、2～3年目の職員を対象に文書専門研修を実施しました。さらに、今年度は新しく指導職を対象とした文書指導研修を実施しました。

文書専門研修

講師：いずみの苑 係長



文書指導研修

講師：本部人材担当
関町福祉園 施設長



令和5年度の取り組み

～職層研修～

- 4、10月 新任職員研修
 待遇研修
- 6月 中堅（初級）研修
 中堅（上級）研修
- 12、1月 指導職研修（4回）

～課題別研修等～

- 通年 施設間交流研修
- 5、2月 プリセプター会議
 プリセプティ会議
- 10月 プリセプター
 養成研修
- 11月 文書専門研修
 文書指導研修

施設間交流研修

令和4年度の実績は80名でしたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症も5類に移行したこともあり、参加希望者数は約2倍の158名となりました。

職員が法人他施設の実務研修を受けることにより視野の拡大と自身のキャリアアップやスキルアップ、資質とサービスの向上、他施設との人事交流が図れるという効果があります。今後も施設間交流研修を積極的に展開します。

特集 各施設でイベントが再開

東京援護協会では、令和5年5月8日からのコロナウイルス5類移行に伴い、各施設で催しが再開されました。コロナ前後でのイベントの違いの紹介と共に、久々のイベントを楽しんでいる様子を紹介します。

東京高次脳機能障害支援ホーム



施設内で小規模な形で水風船を使った的あてや本物スイカを使ったスイカ割を楽しみました。

まつがや高齢者在宅サービスセンター



学生ボランティアに協力いただき、楽しいひと時を過ごしました。

前野高齢者在宅サービスセンター



利用者と間隔を保ち、パーティションを区切っていましたが、今年はパーティションを外して行いました。

特別養護老人ホームいずみの苑



久しぶりにボランティアによる演奏がありました。

くらまえ高齢者在宅サービスセンター



賀寿を祝い、祝い膳を食べました。



大泉障害者支援ホーム

『近隣小学校への出張授業』



ガイドヘルプ体験、点字授業の出張授業を行いました。

関町福祉園

関町フェスティバル



園庭のみを公開していましたが、今年度は施設内で販売や作業体験を行いました。

田柄福祉園

田柄フェスティバル



“月見奏”による芸術鑑賞会では、歌とクラリネット、キーボードによる素敵な演奏で、楽しく一体感を味わいました。

小豆沢福祉園

区のスポーツ大会



コロナの影響で、数年ぶりの開催となりました。久々の開催ということもあり、みなさん笑顔で参加されていました。

災害時に伴う園内宿泊訓練

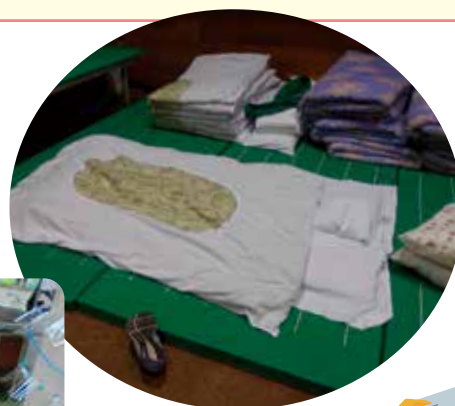
関町福祉園

1泊2日で、4年ぶりに園内宿泊を行いました。

令和3～5年度に入園された方を対象に、自然災害等での帰宅困難を想定した訓練です。当日は4名が参加しました。

夜には停電時を想定したランタンを携帯しての園内歩きを行い、多目的ホールに布団を並べて就寝しました。朝食は防災食の体験として、お湯を入れて作るピラフや缶入りのパンを食べました。

今回の訓練を通して、宿泊時の利用者の反応を知ることができました。そして、園内で安全に過ごすために、利用者の自宅での過ごし方などの情報収集や事前準備の重要性を改めて感じました。



感謝を込めて敬老会

特別養護老人ホーム蔵前

敬老会を開催しました。感染症予防のため、ご家族は参加せず、職員と利用者でお祝いしました。

特養とデイサービスでは、施設長による挨拶と乾杯の後、「お祝い御膳」の昼食を提供しました。また、賀寿のお祝いと合わせ、利用者全員に記念のアルバム等をプレゼントしました。

施設長による
お祝いの挨拶



豪華なお祝い御膳を頂きました。



敬寿の記念撮影をしました。

ユニバーサルスポーツ体験

中村橋福祉ケアセンター

中村橋福祉ケアセンターでは、他者交流やリフレッシュも兼ねて、「ユニバーサルスポーツ」を訓練や活動に取り入れています。

ボッチャ、モルック、卓球バレー等を利用者同士で楽しく、時には作戦を考えながら行っています。お互いに作戦を練ることで自然と他者交流に繋がり、スポーツを通じてチームの絆も出来上がり、大いに盛り上がっています。

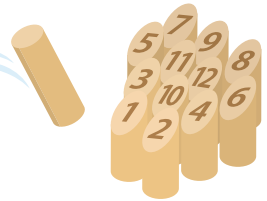
お知らせ

中村橋福祉ケアセンターでは、施設の大規模改修工事のため、令和6年2月末から令和7年10月まで、旧光が丘第七小学校跡に一時移転します。

【移転先の所在地と電話番号】

練馬区光が丘2-6-1 03-6904-0145

ご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。



ミツバチの採蜜作業

蓮根福祉園

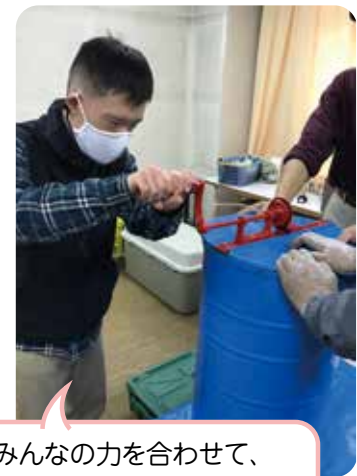
近隣農家の THE HASUNE FARM さんからの依頼で、ミツバチの採蜜作業を初めて福祉園で行いました。

蜂蜜がたくさんつまった巣枠をセットした遠心分離機を1000回ほど手で回して蜂蜜を振り出し、ろ過します。大変な作業ですが、作業をしているお部屋が蜂蜜の甘い香りいっぱいになり、「どんな味がするのかな?」「おいしいと良いよね。」など、会話しながら楽しく作業をしています。

今は蜂蜜を採る作業だけですが、ゆくゆくは採蜜した蜂蜜を瓶詰したり、採れた蜂蜜を使つての新商品につなげていきたいと思ひます。



利用者さんが遠心分離機に巣枠をセット



みんなの力を合わせて、1000回目指して回します。



板橋区生まれのはちみつ! とても甘くて優しい香りに包まれました。

支援マテリアル紹介 「脳の健康作り まえのゼミ」

前野高齢者在宅サービスセンター

前野高齢者在宅サービスセンターでは、脳の健康作りとして「まえのゼミ」を令和4年6月から開始しました。

当初は初級①、初級②、中級、上級の4種類から始まりました。内容は小学生程度の算数と漢字の2科目でしたが「算数を増やして」という声もあり、現在は計算①②③を加えて、7種類に増えました。

皆様とても興味を持っていただき、余暇時間に熱心に取り組まれています。1冊全てが終わると修了証が授与され、達成感や満足感が感じられると大変喜ばれています。



東援歳時記

地域と共に「いずみ祭」

特別養護老人ホームいずみの苑

コロナ禍を経て、4年ぶりに、地域にお住まいの方にも楽しんでいただけるよういずみ祭を開催いたしました。

オープニングは、「長後睦(ちょうごむつみ)太鼓」による力強い演奏でした。

施設の外では職員お手製の魚釣りや

ヨーヨーなどのゲームコーナーと模擬店を出し、施設内では、入居者対象の演奏会や写真館のプロによる家族写真撮影会などが行なわれました。

ご家族様と楽しむ時間はあっという間でしたが、皆さん楽しまれている様子でした。



オープニングの「長後睦太鼓」



大盛況の演奏会



地域にお住まいの方が模擬店を楽しまれている様子

編集後記

この度の能登半島地震の報に接し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

今年は「甲辰」です。皆様の努力してきた芽が成長し、勢いよく上昇していき、目標が実現する年になりますように。

コロナ禍を経て、4年ぶりに地域の

方々と共に活動することもできました。これからも地域に根ざした活動に取り組み、地域の方々との共生を目指して社会貢献できるように努めてまいります。

利用者やご家族、法人を取り巻く地域の方々の輝きと笑顔、法人の「いま」と「これから」として皆様に向けていきたいと思っております。



東援だより 第41号

発行日 令和6年3月6日

発行者 中村 明彦
社会福祉法人 東京援護協会

東京都台東区東上野3-18-11